

感染症予防対策には、口腔ケアが重要です。

口腔ケアが感染予防となる3つの理由。

- 1.ウイルス対策：感染を助ける酵素をブロック**
- 2.免疫力アップ：腸内環境を整え、病気に負けない身体へ**
- 3.肺炎予防：お口の細菌を減らし、呼吸器の健康を守る**

お口は、病気を引き起こすウイルスも入って来るカラダの「入り口」

お口の中には、粘膜免疫があり、お口から入ったウイルスが粘膜に付着すると全身の免疫に情報を送り、付着した粘膜近くのリンパ組織を介して、ウイルスの侵入を阻止する物質を唾液中に分泌し、素早くウイルスなどの病原体に対応します。

風邪やインフルエンザといったウイルスは、喉や気管の粘膜で増殖します。

お口の中を清潔に保つということは、唾液や口腔内の粘膜の機能が正常に働き、ウイルス感染予防にとっても有効です。

特に唾液は、細菌やウイルスを防御し、口腔内の汚れも洗い流してくれます。

しかし、お口の中が汚れたままだと細菌が増えてしまい、一部の細菌の産み出す物質が、粘膜の防御機能を壊してしまいます。

また、嚥下機能が弱っている高齢の方は、唾液に混ざった細菌が肺の中に入ってしまう、肺炎を引き起こしてしまいます。

むし歯や歯周病を予防するだけでなく、インフルエンザや肺炎といった感染症を予防するためにも、**口腔ケアはとても大事**です。

プロポリスの抗菌力で感染予防

プロポリスは天然の抗生物質

プロポリスには傷を治し炎症をやわらげる強い殺菌・消毒作用があります。これ以外にも血液浄化・酸化防止・免疫力増強・麻酔作用があり、関節炎、やけど、アトピー性皮膚炎、ぜんそく、口内炎、のどの痛みにも有効なことが解ってきています。

さらに日常生活で大切な健康分野での研究では、抗生物質とは異なり、細菌やウイルスが耐性をつくらないことがわかり、MRSAによる院内感染防止に期待が寄せられています。